

地域包括ケアシステムにおけるこれからの保険外サービス
～地域での展開と家族支援～

介護に取り組む家族のニーズと ケアマネジャーの意識 －アンケート調査結果－

2017年3月30日

株式会社日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門

介護に取り組む家族のニーズ

調査概要

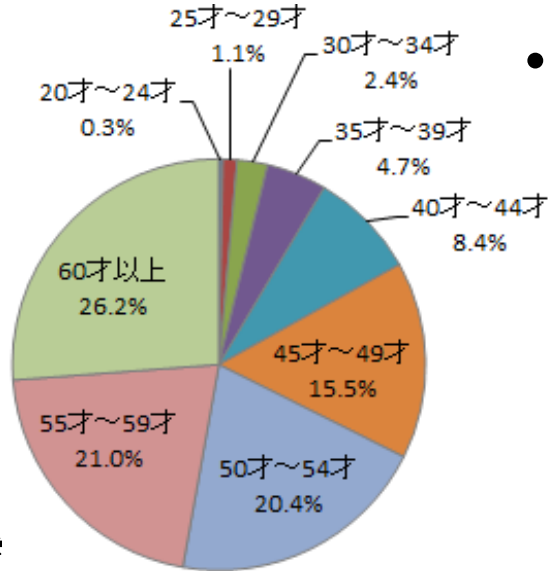
■WEBアンケート

- 調査期間： 2017年01月13日(金)～2017年01月14日(土)
- 調査方法： マクロミルモニターに対するWEBアンケート
- 調査対象者条件：
 - 地域：全国
 - 年齢：20歳以上
 - 職業：学生を除く
 - 業種：調査業・広告代理業を除く

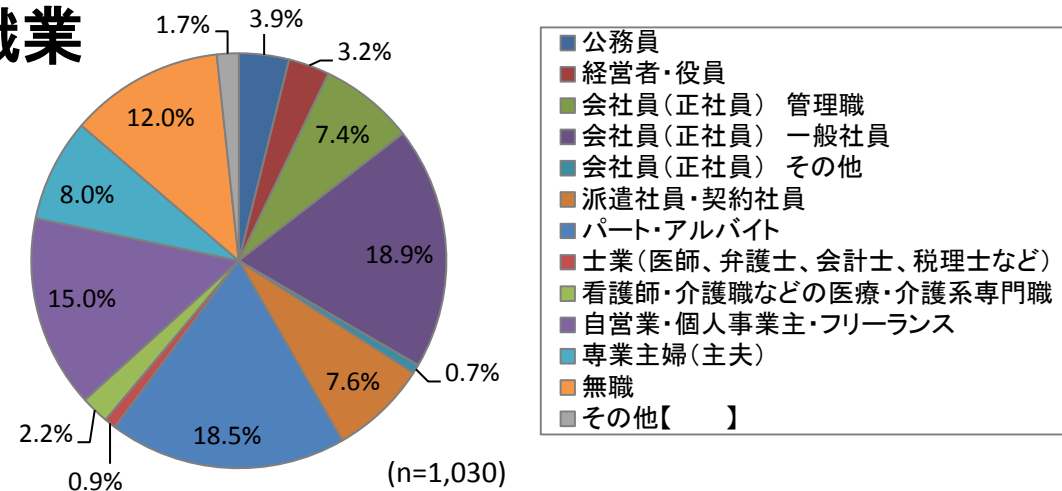
		回収数
割 付 セ ル	【有職】男性	412
	【無職】男性	103
	【有職】女性	412
	【無職】女性	103
全体		1,030

回答者のプロフィール

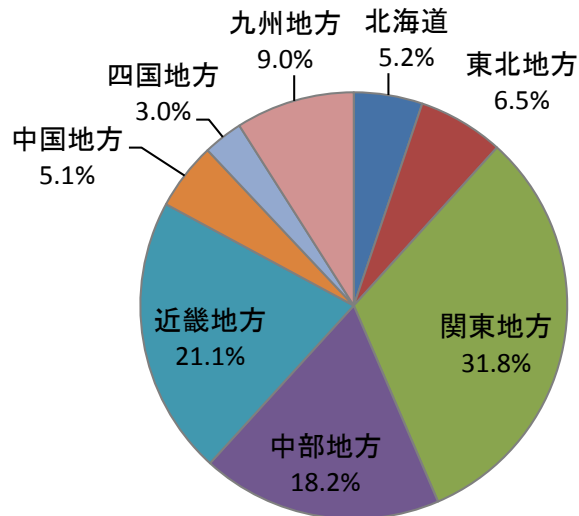
年齢



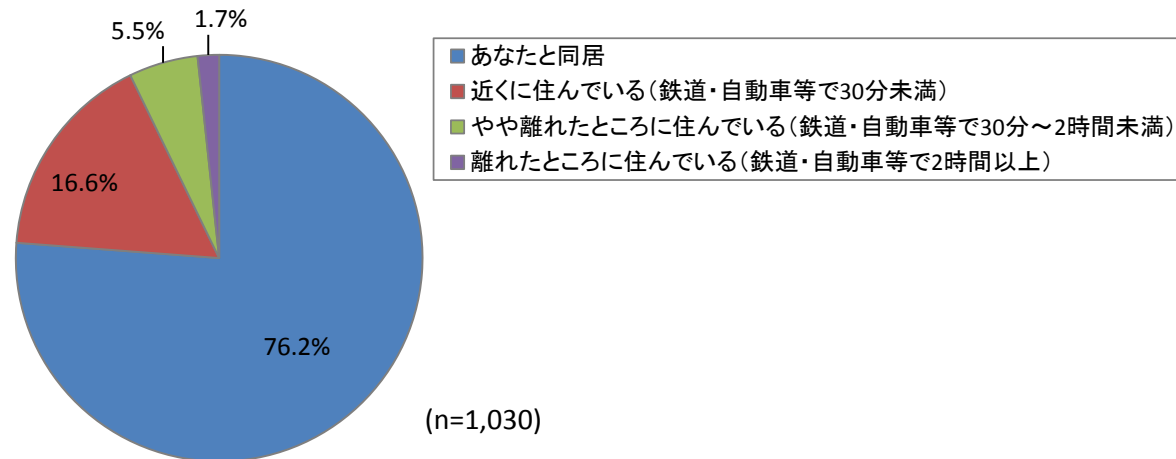
職業



居住地域



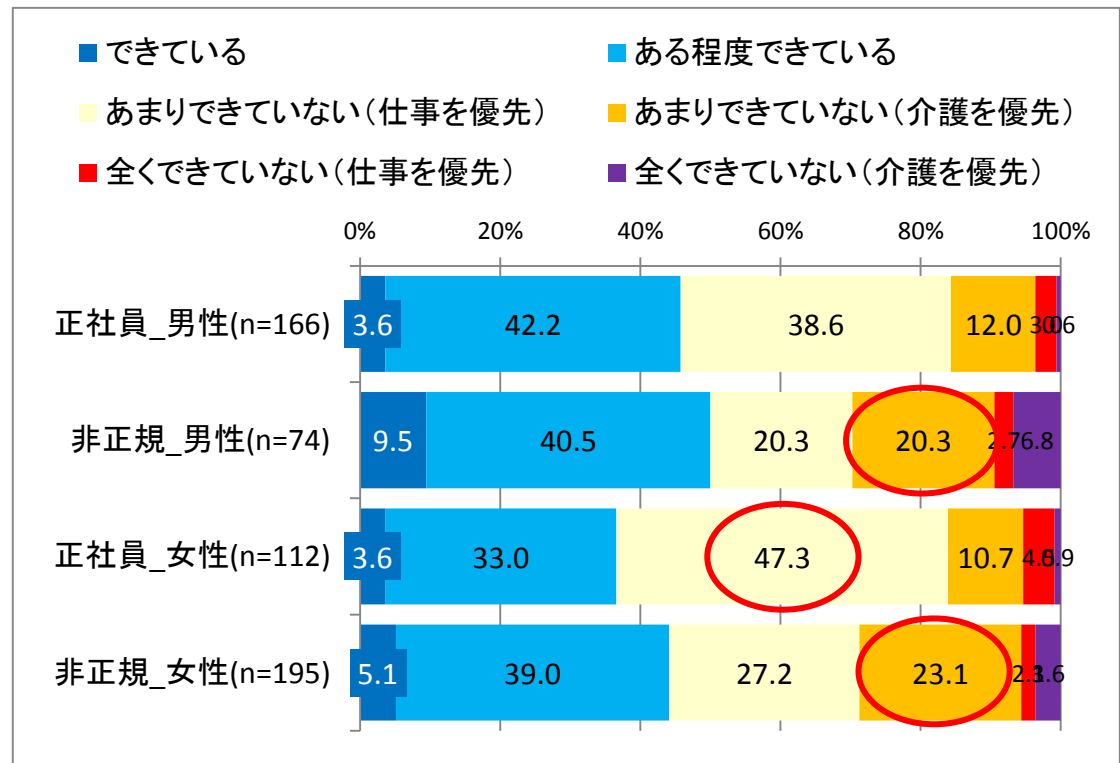
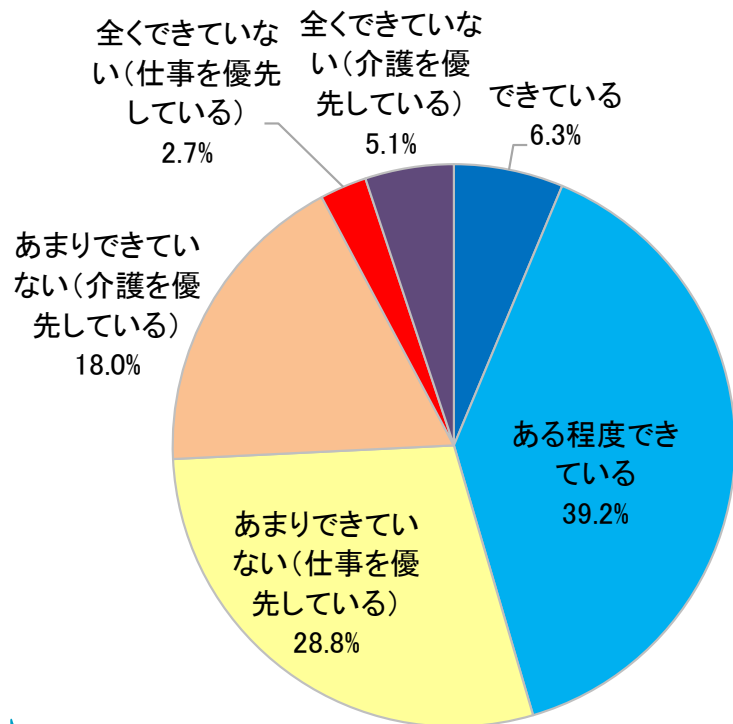
介護が必要な家族と同居/別居



「仕事と介護の両立」意識

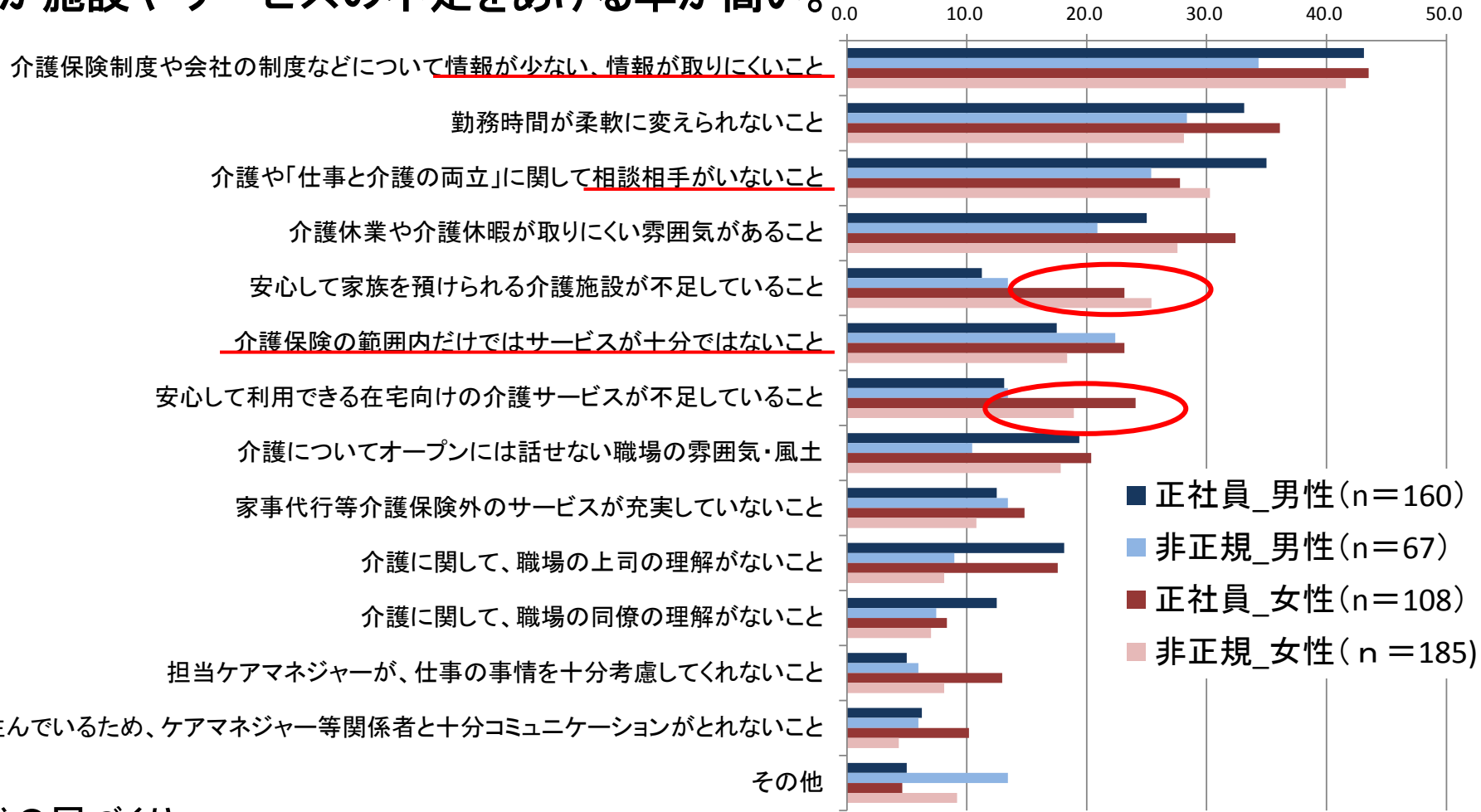
介護に取り組む有職者の半数以上が「両立できていない」と回答。
男女×正規/非正規で、仕事優先か、介護優先かは異なる。

「仕事と介護の両立」が出来ていると思うか（有職者向け）



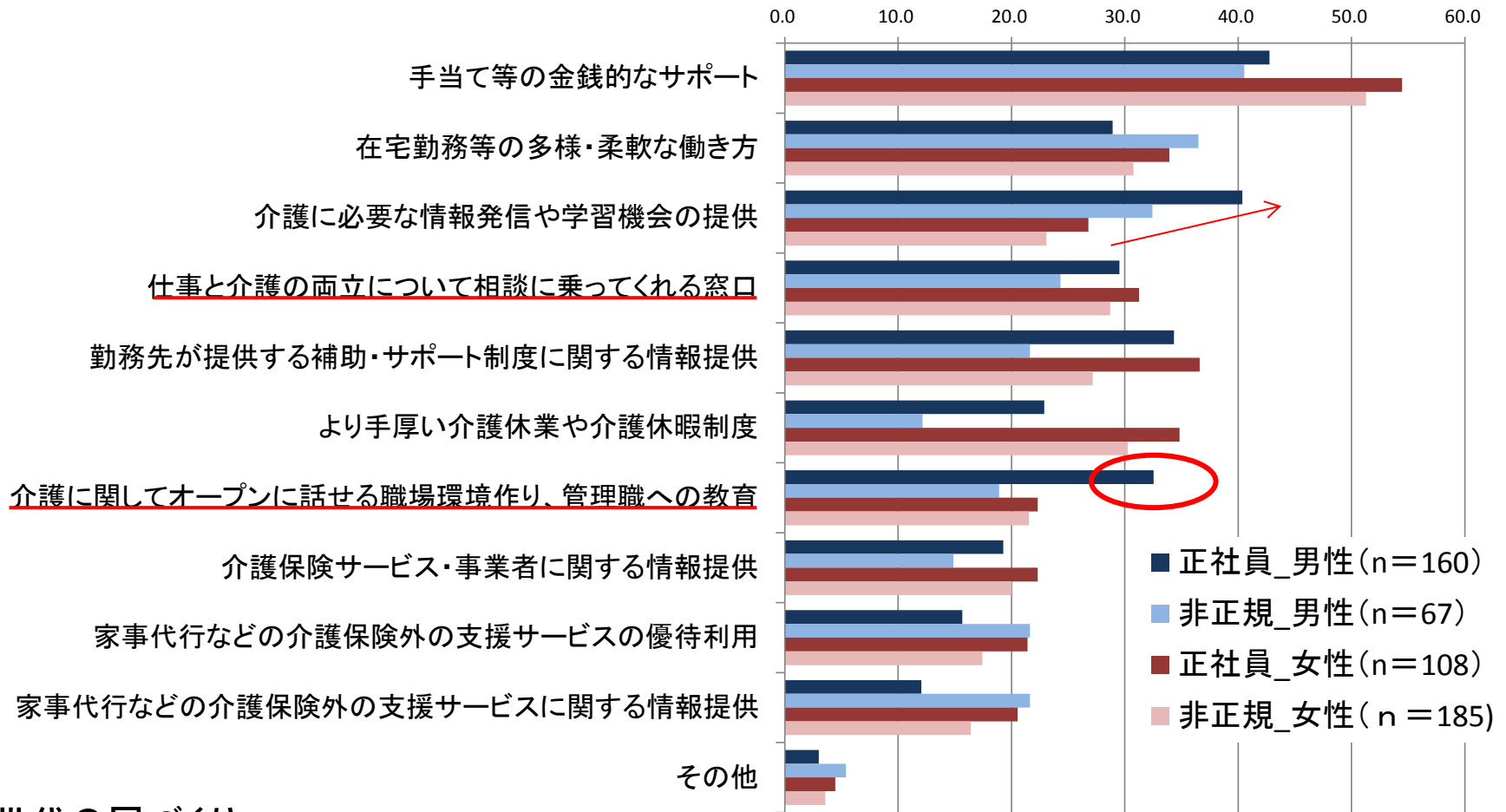
仕事と介護を両立する上での問題・課題

情報の不足や相談相手がいないことが課題の上位。
女性の方が施設やサービスの不足をあげる率が高い。



仕事と介護の両立について勤務先に求める支援

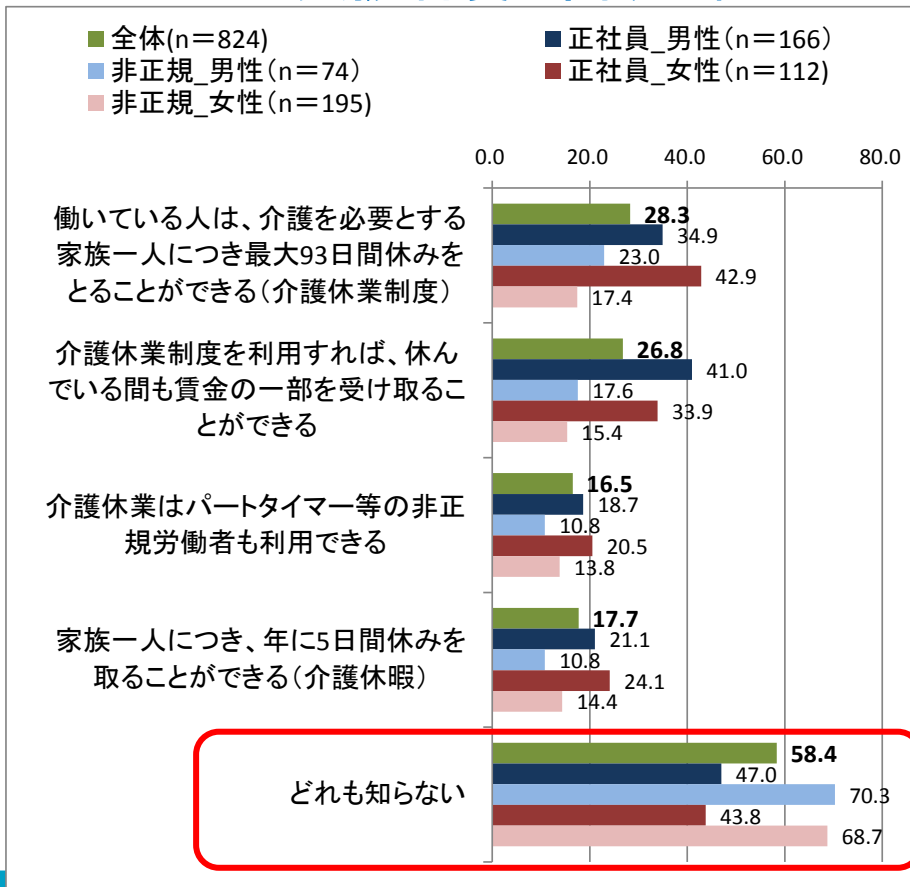
勤務先に対して求めるものは、(金銭や勤務形態を除くと)
情報提供や学習の機会提供、相談窓口、介護について話せる職場環境や管理職教育。



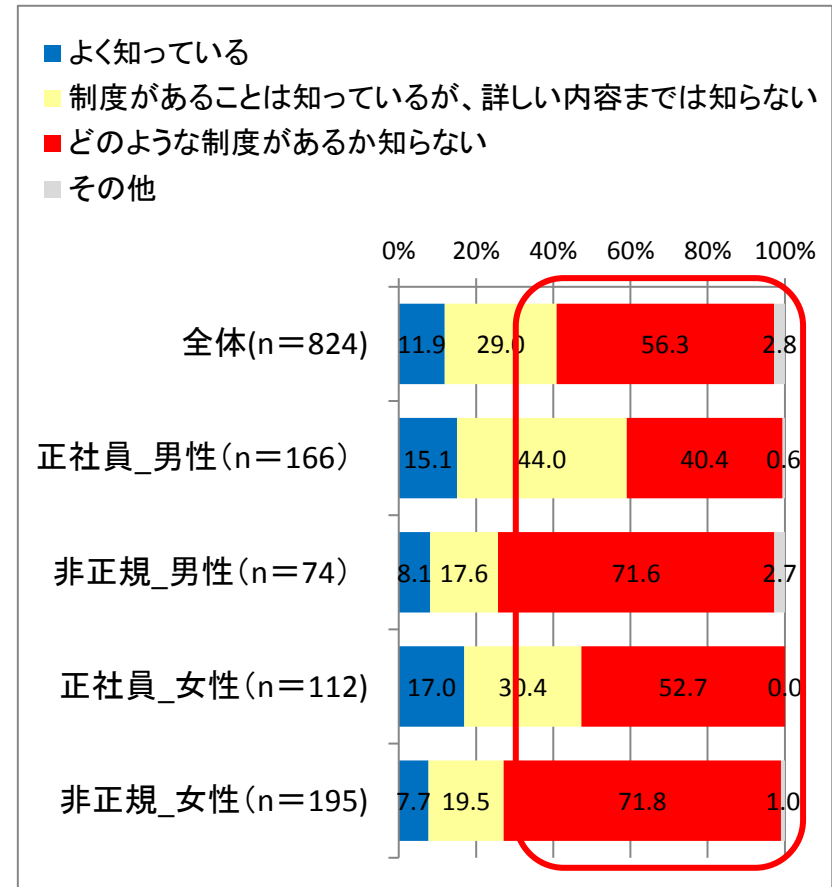
介護に関する「情報」の浸透度合い

公的な支援制度や勤務先独自の支援制度について「知らない」とする人が多い。

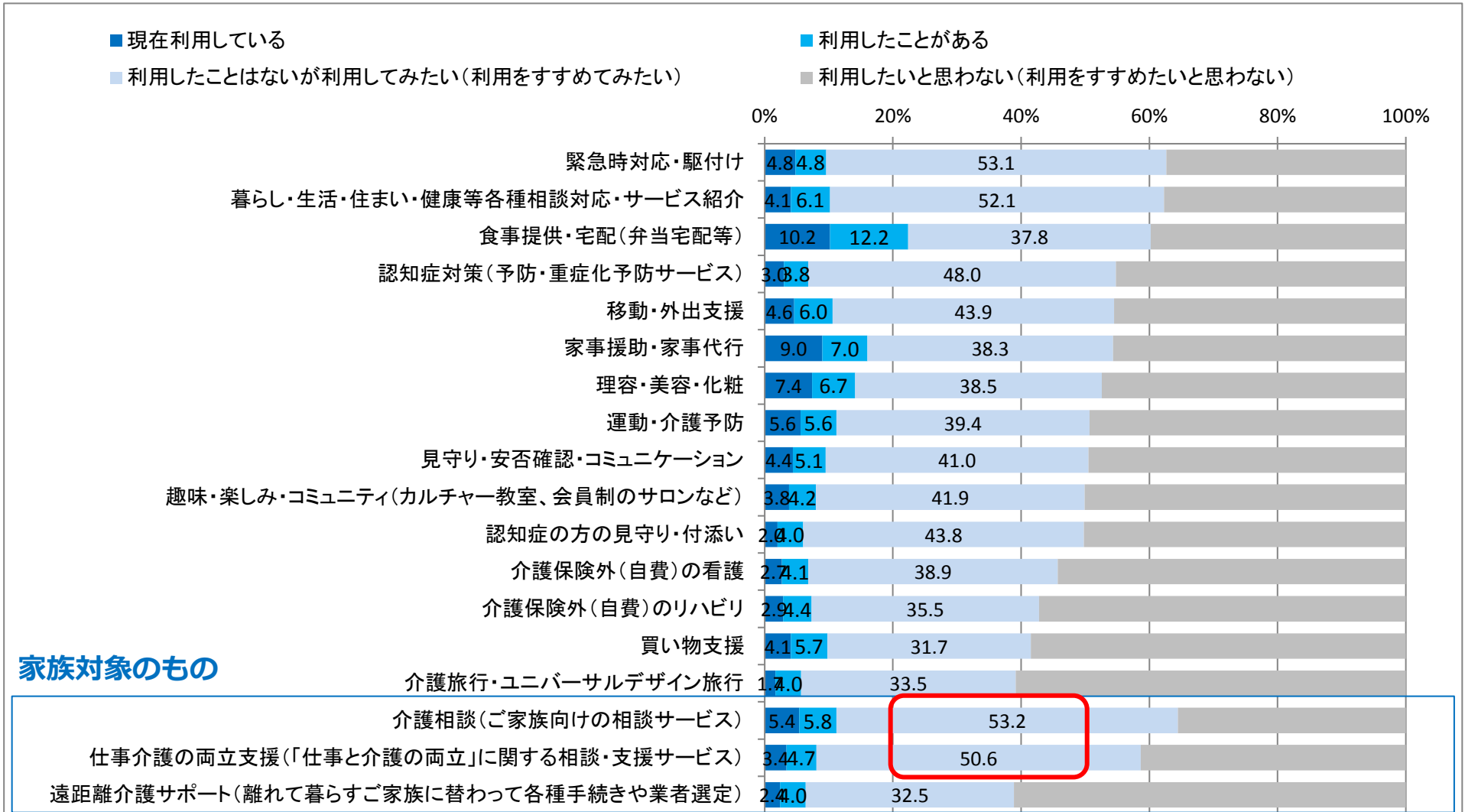
公的な支援制度に関する認知



勤務先独自の支援制度に関する認知



介護に取り組む家族から見た保険外サービスニーズ



家族対象のもの

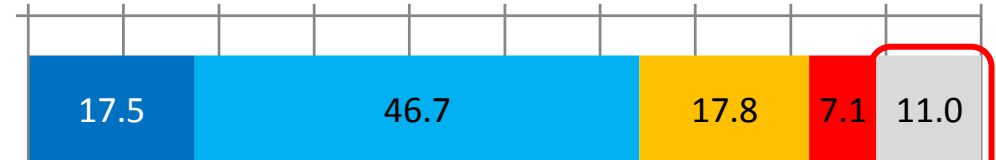
「保険外サービス」に対する家族の意識

家族として「保険外」も必要との認識であり、勤務先やケアマネジャーに情報を求めている。

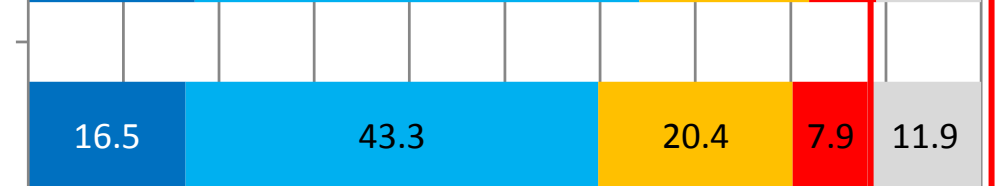
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない、考えたことがない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

仕事と介護を両立させるためには、公的な介護保険サービスだけではなく、保険外の自費サービスも必要だ



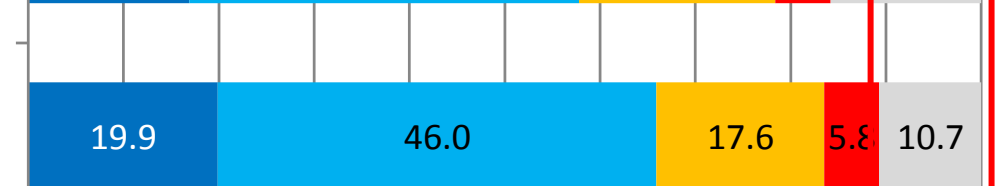
家族の介護や、仕事と介護を両立するためには保険外の自費のサービスであっても、良いサービスがあれば積極的に活用したい



勤務先には、保険外の自費のサービスであっても、仕事と介護の両立に役立つ良いサービスは積極的に紹介・情報提供してほしい

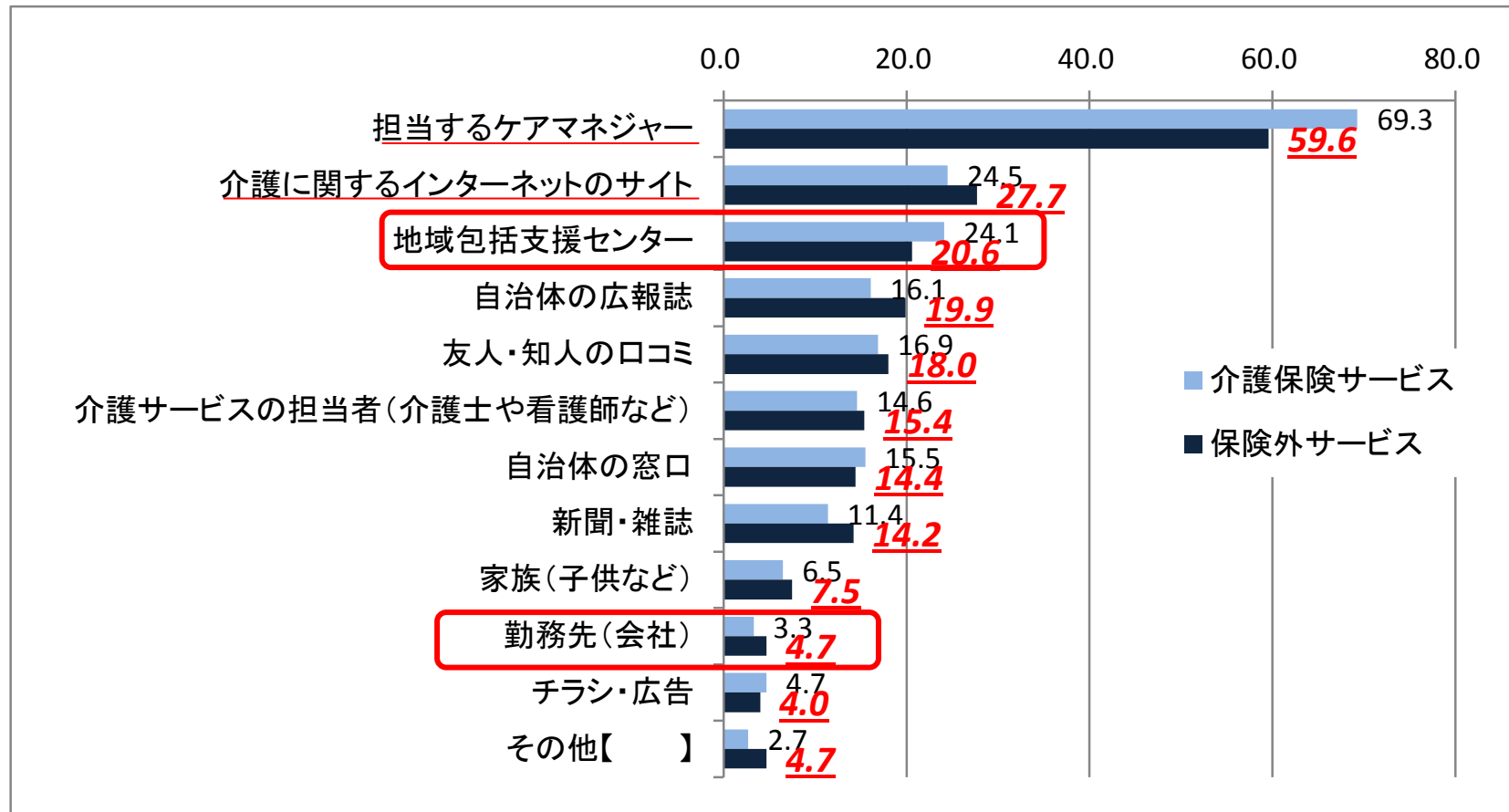


ケアマネジャーには、保険外の自費のサービスであっても、仕事と介護の両立に役立つ良いサービスは積極的に紹介・情報提供してほしい



「保険外サービス」に関する情報入手経路

保険外サービスに関する現在の主な情報入手経路はケアマネジャー。
 前頁の期待から考えると、「勤務先」における更なる情報発信も求められている。



家族支援や保険外サービスに関する ケアマネジャーの意識

調査概要

■WEBアンケート

- 調査期間： 2017年01月19日(木)～2017年01月25日(水)
- 調査方法： IIF「ケアマネジメントオンライン」でのWEBアンケート
- 調査対象者： ケアマネジャー
- 回収数： 410名

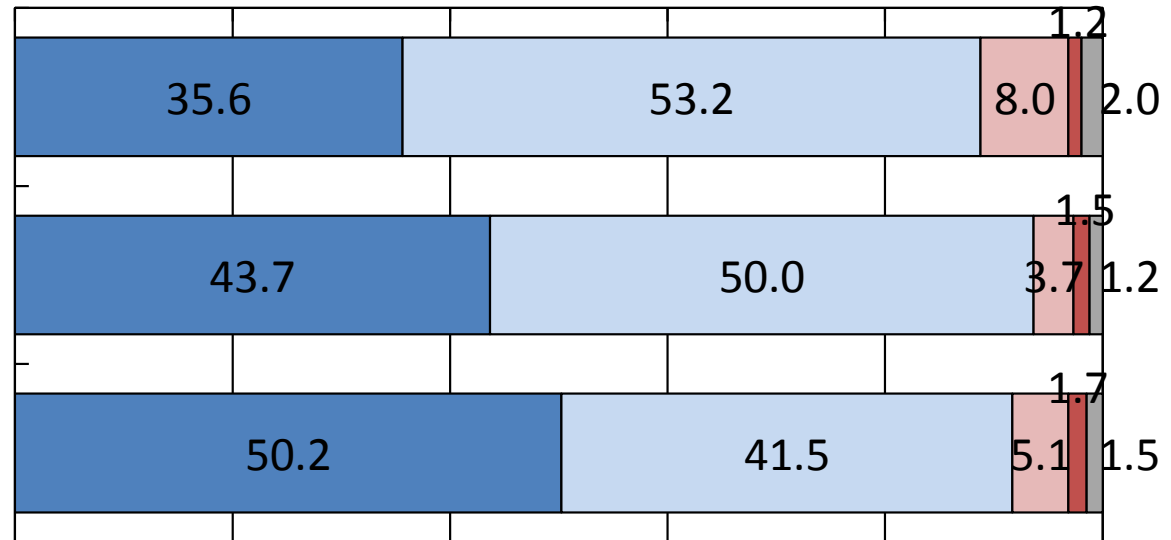
家族支援や保険外サービスに関する意識

「家族の仕事と介護の両立に関心を持つべき」「保険外サービスも含めて検討すべき」という意見が多勢。

(n=410)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

ケアマネジャーとして、キーパーソンとなる
ご家族の勤務形態や労働時間に配慮した
プランを作成すべきだ

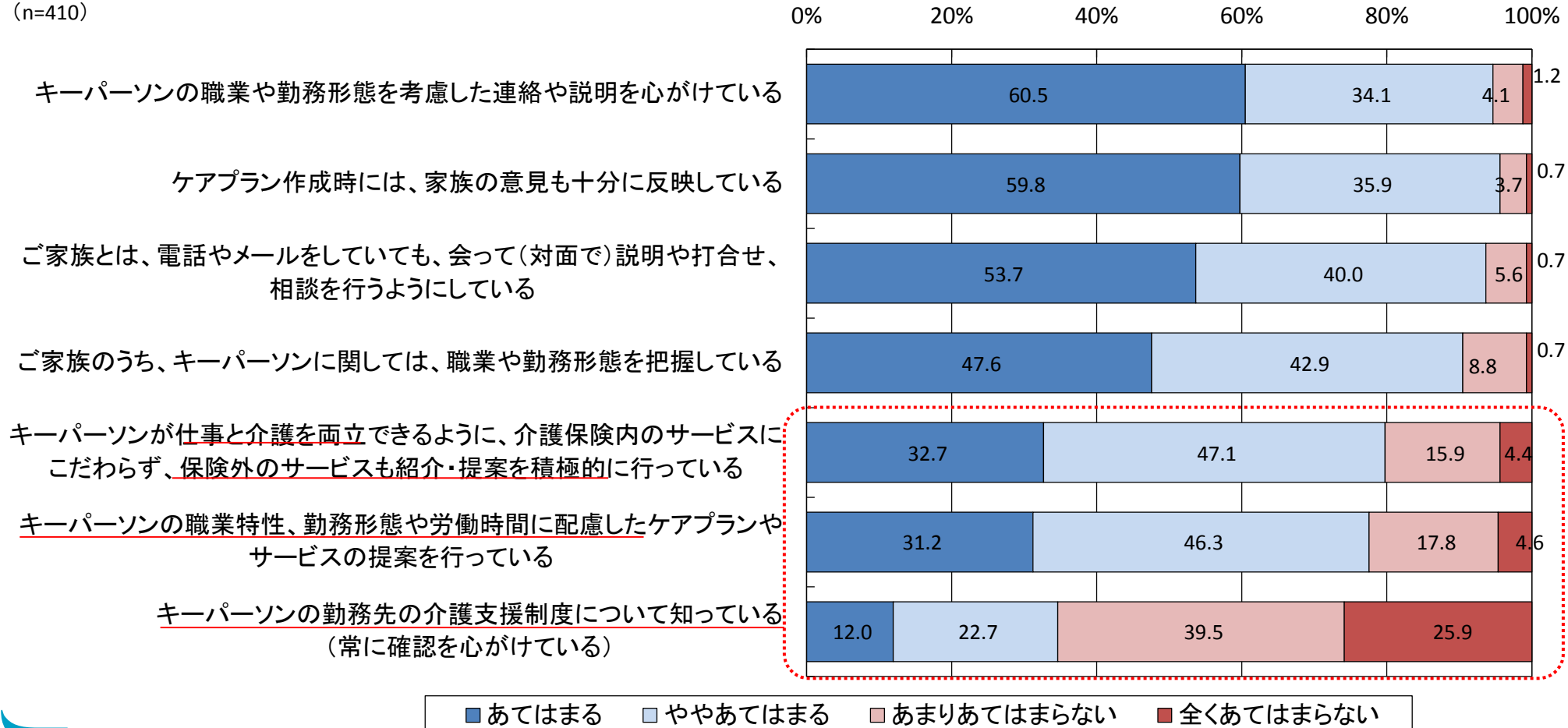


■ そう思う □ どちらかといえばそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない、考えたことがない

ケアプラン作成時の家族ニーズ把握や家族支援の実態

「家族の意見は反映」しているものの、「保険外を含めた提案」や「家族の職業や勤務形態」
更には「勤務先の支援制度の把握」等は難しいのが実態の様相。

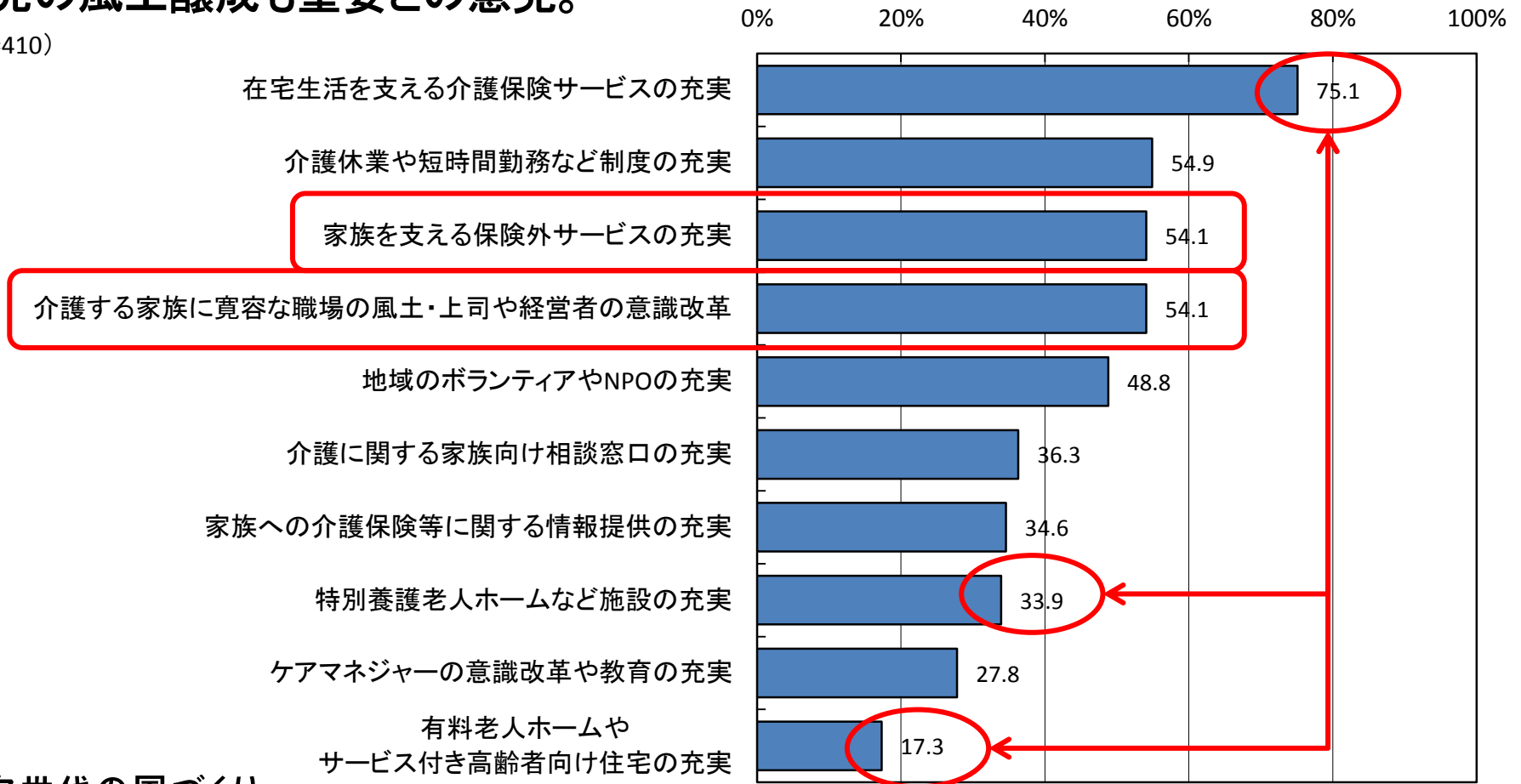
(n=410)



「仕事と介護の両立」に必要なだと感じること

在宅生活を支える介護保険サービスの充実や休業制度等の拡充について、「家族を支える保険外サービスの充実」が必要だとの意見。勤務先の風土醸成も重要との意見。

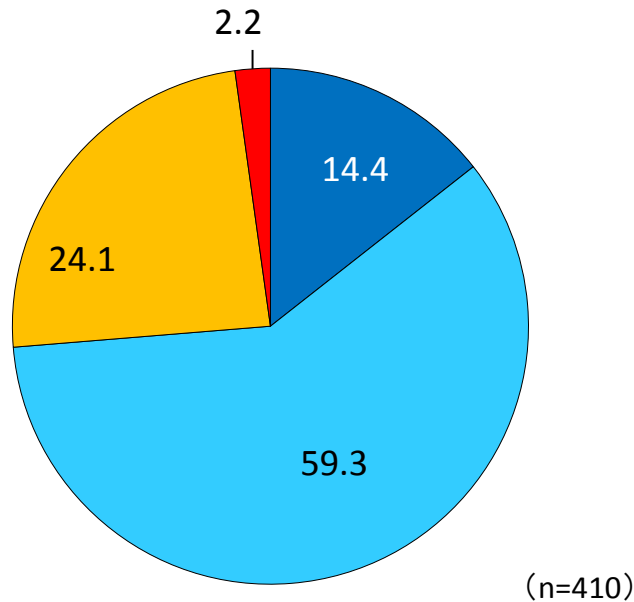
(n=410)



保険外サービスの提案実態

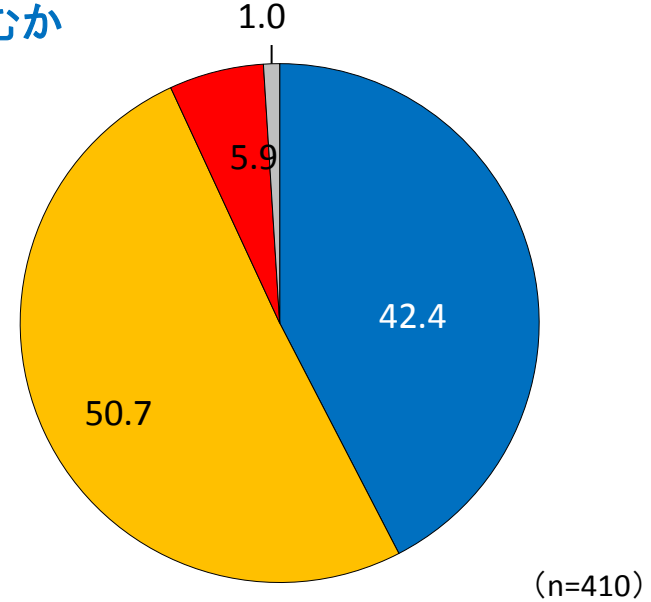
保険外サービスについては「利用者や家族から要望があった場合に検討」するのが多数派

保険外サービスをケアプランに盛り込む頻度



- 積極的に盛り込んでいる
- ご利用者やご家族から希望があれば、盛り込んでいる
- ケアプランには盛り込まないが、ご利用者やご家族に情報提供や提案はする
- ケアプランにも盛り込まないし、情報提供や提案もしない

どのようなときに保険外サービスをケアプランに盛り込むか

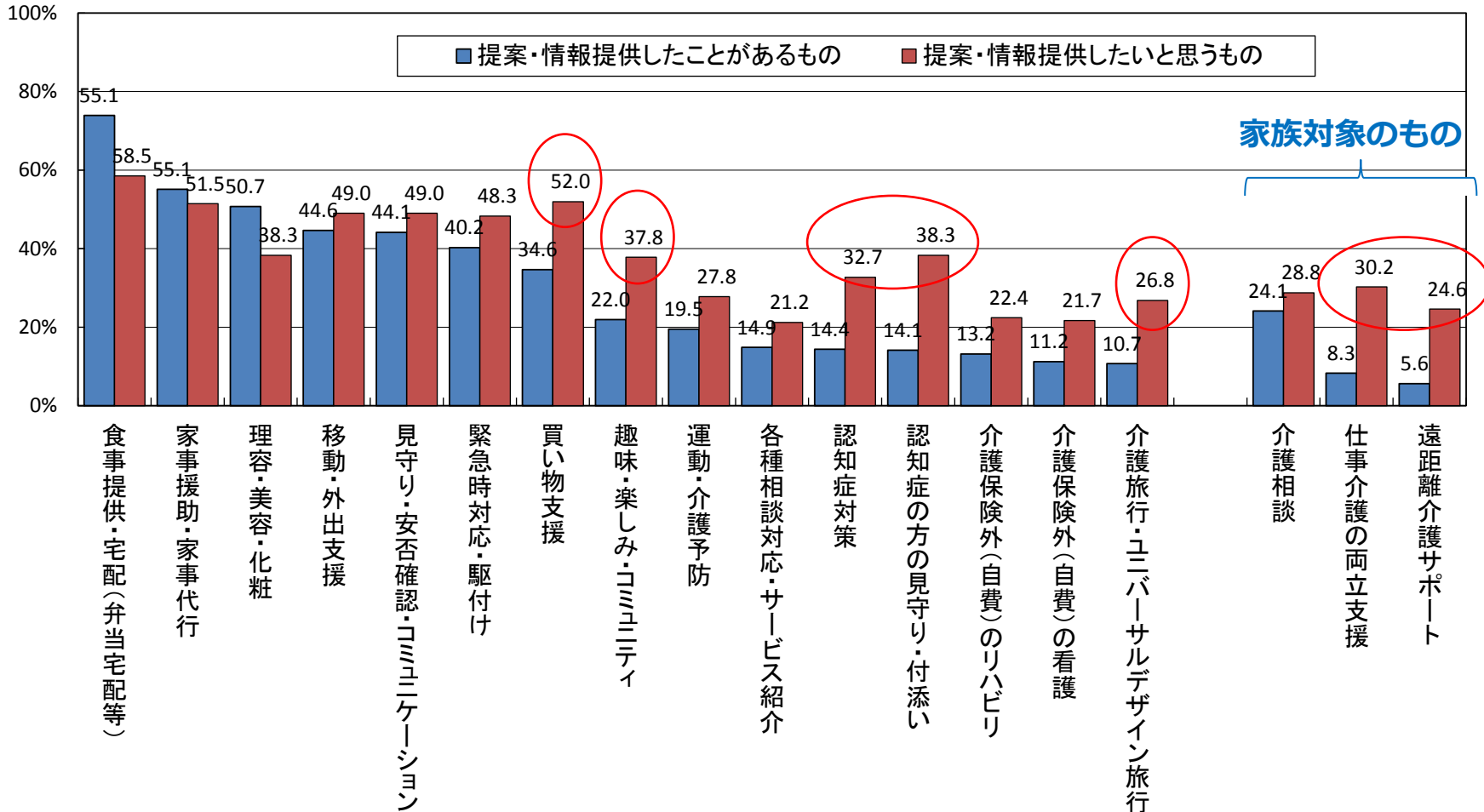


- 利用者や家族からの要望がなくとも幅広く検討の選択肢に入れ、提案している
- 利用者や家族からの要望があった場合には、検討し、盛り込むようにしている
- 利用者や家族からの要望がない限り、そもそも保険外サービスは検討しない
- その他

保険外サービス分野別の提案実態・提案意向

買い物支援、趣味・旅行、認知症、家族の支援サービス等で今後の推奨意向が高い。

(n=410)

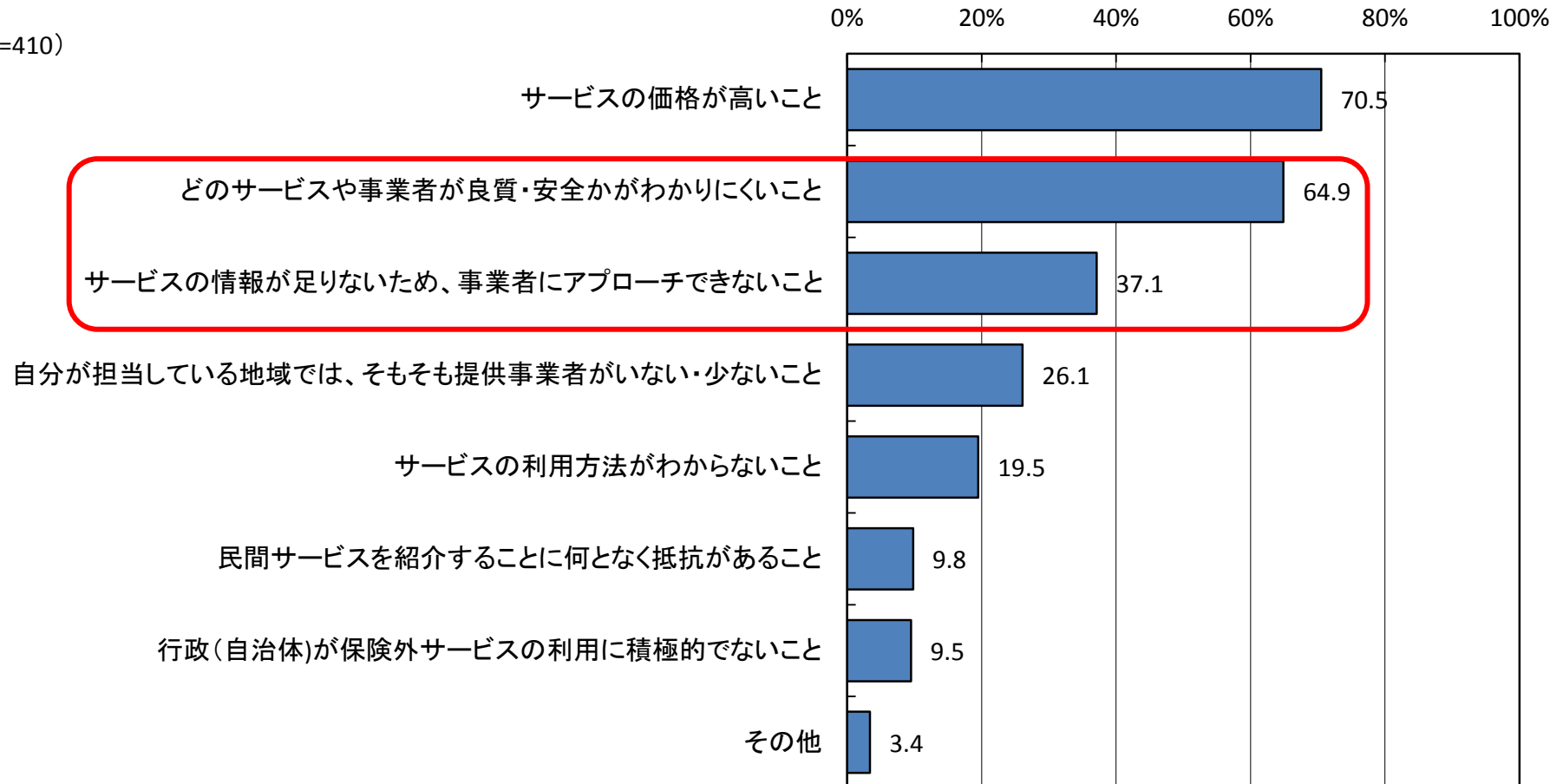


保険外サービスの活用・提案時の課題

ケアマネの立場からは保険外サービスを活用するには「見える化」が重要との意見。

保険外サービスをケアプランに盛り込んだり、情報提供を行う際に難しいと感じること

(n=410)



まとめと提言

家族向け調査

- ✓ 「仕事と介護を両立できていない」との意識は大きく、女性正社員において深刻
- ✓ 両立に立ちはだかる最大の壁は「情報の不足」。相談相手の不足も大きい。
- ✓ 保険外サービスについても、「良いものは積極的に使いたい」が多数派、両立を支援してくれるものとして期待
- ✓ サービスの主たる情報経路はケアマネ。「勤務先」へ期待はあるもののごくわずか。

ケアマネ向け調査

- ✓ プラン作成時に家族の状況やニーズは重視するが、働き方や勤務先の状況までつかむのは困難
- ✓ 家族支援の面でも保険外サービスは重要だと考えているが、提案するのは「家族から要望がある」場合が主
- ✓ 保険外サービスを推奨する上でのネックは価格について、事業者の情報

- ◆ 「情報不足」を解消する勤務先の体制整備＝アウトソーシングサービスの成長余地
- ◆ 「事業者⇒企業(勤務先)⇒家族」の経路での保険外サービス認知拡大の可能性
- ◆ 企業における「従業員⇔ケアマネ」の関係構築を支援する取組みも求められる(会社の補助制度や勤務形態等に関する情報の提供など)
- ◆ 各地域単位での「保険外サービスの“見える化”」を加速させる必要あり